



新年度を迎えて

～ 地域の皆様と共にある鵬友会であるために ～

医療法人社団鵬友会 理事長 池島 秀明



新型コロナウイルス感染症の流行が始まってから、はや3年目を迎え、皆様方におかれましては今年も残念ながら例年のようなお花見を楽しむこともできない日々であったと思います。そんななか私ども鵬友会は、地域の皆様方と共にある医療法人として、このコロナ禍でも、皆様のお役に立てるようにと様々な対策をおこなってきました。それは当法人が『当会の設置経営する施設は永年医療業務に関与してきた立場より、この経験を活かしつつ「科学的で良質かつ適切な医療、看護、介護」を普及することにより、ソーシャルサービスの精神をもって地域の皆様から信頼される医療及び福祉に貢献すること』を基本理念にしているからです。そして基本理念に則って、地域の皆様の健康の維持、児童福祉に、コロナ禍であるからこそその努力を惜しまない姿勢を継続したいと思っております。

【湘南泉病院】 令和3年度に引き続き、神奈川モデル認定医療機関として、軽症・中等症・疑似症患者の受入れ、発熱外来、ワクチン接種、自宅療養者の外来診療、中和抗体療法による入院治療、近隣高齢者施設でのクラスター発生時対応等、新型コロナウイルス感染症の対応を積極的に行うだけでなく、令和4年4月の診療報酬改定により見直された施設基準「感染対策向上加算1」を届出することで、自院だけでなく法人全病院及び、地域の医療機関の感染防止対策の向上に努めます。更に、地域に根差した救急医療体制の充実・強化を図ると共に、将来を見据え、既存事業である産業衛生部門・健康診断部門の拡大を図るための体制整備を行います。

【新中川病院】 昨年度当院は、おかげさまで開院35年を迎えることができました。これまで支えて頂いた地域の住民の方々、また勤務されていた諸先輩の志に恥じぬよう現職員一同、地域医療に貢献していく所存です。さて令和3年度は、新型コロナウイルス感染症に関して、ワクチン接種を横浜市より受託し、発熱外来も神奈川県より受託しております。微力ではありますが、コロナ禍でも地域医療の一端を担えたのではないかと考えております。初めて来院された方も多く、これを機会に当院を知って頂くことができたとと思います。今年度も外来に関してはワクチン接種と発熱外来にて地域貢献をすると同時にアフターコロナ対策を検討してまいります。入院医療に関しましては、これまでと同様に当院を選んで頂いた患者様、ご家族様また関係医療機関様に満足して頂けるよう、入院はスピーディーに、そして安心出来る入院生活が送れるよう職員一同頑張っております。

【横浜ほうゆう病院】 認知症専門医療機関として、横浜市の事業である「認知症疾患医療センター」、「認知症初期集中支援推進事業」並びに「もの忘れ健診」を受託しています。地域における認知症ケアに関する知識・技能の向上を目的に、地域の医療・介護関係者等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断、身体合併症と周辺症状への対応、専門医療相談等を実施してまいります。

【フジヤマ病院】 フジヤマ病院では新型コロナウイルスに対応すべく発熱外来を設置し、抗原検査・PCR検査・コロナウイルスワクチン接種に取り組んでおります。4月より新たに外科医2名の着任に伴い摂食嚥下支援チームを発足させ、嚥下で不自由されている患者様の対応に力を入れます。また内視鏡検査や健診部門にも力を入れて地域医療を支える病院として職員一同努めて参ります。

【本郷クリニック】 本郷クリニックは、瀬谷区本郷地区とその周辺の皆様が健康を維持できるように、かかりつけ医として生活習慣病や循環器疾患、呼吸器疾患等内科全般の診療を行っています。また、発熱外来・ワクチン接種など積極的に新型コロナウイルス感染症の対応にもあたっています。本年度もなお一層、地域の皆様の笑顔と健康のために、スタッフ一丸となって精進してまいります。

【介護老人保健施設 阿久和鳳荘】 職員一人ひとりのスキルアップのための研修や勉強会を積極的に取り入れ、介護ケアの強化を図ります。また通所リハビリテーション体制・在宅支援の取り組みを充実させ、地域で介護が必要なご利用者様に信頼される施設を目指し、職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

【介護老人保健施設 リバブルケア】 介護保険制度の変容・感染症対策などに対応し、より効果的なサービス提供に努めます。関わる個々の尊厳を支え、生き活きと暮らすことができるよう組織のサポート力を発揮し地域の社会資源として包括的支援の視点からも貢献できるよう取り組んで参ります。

【介護老人保健施設 いかる野】 予断を許さない感染状況が続く中、制限の多い感染症対策であっても、工夫を凝らして利用者様・ご家族様の希望や想いに応えていきます。利用者様にとっては利用しやすくご家族様にとっても相談しやすい地域に信頼される介護施設を目指してまいります。

【ほうゆう訪問看護ステーション】 近年は病院からの在宅復帰が促進され、在宅サービスもより需要が高まっているため、これまで以上に各所との「連携」「サービスの内容、質、体制の充実」が必要となっております。昨年度からリハビリ部門では、施設への訪問をして共同でアセスメントを行う業務も新たに導入いたしました。今年度も感染対策を万全にして、研修などでサービスの質を高めまたスタッフ間で協働し、引き続き利用者様の思いや環境に合わせ、安心して在宅生活が送れるよう支援をしていきたいと思っております。

【居宅介護支援事業所フジヤマ】 私達は在宅で生活されている要介護者の方々が住み慣れた家庭において幸せに暮らしていける様、日々マネジメントに取り組んでおります。また、富士宮市内における医療、地域、福祉との連絡連携を積極的に行い、顔の見える関係性造りを構築していき、地域や関係者の方々にも信頼される事業所として貢献してまいります。

【ほうゆう保育園】 ほうゆう保育園は認可園になって8年目を迎えます。今年度も保育内容を見直し日々の生活や活動に重点を置き、園児一人一人の成長を丁寧に見ていきます。また、保護者の方にもご協力を頂き、新型コロナウイルス感染症防止に努めていながら、より良い保育を行います。

以上、新年度の年初にあたり本年度の鵬友会各施設の展望を申し述べて参りました。私ども鵬友会は、今後とも現状に甘んじることなく、さらなる向上を求めて職員一丸となって研鑽を積むことにより医療、福祉、保健、児童福祉の分野での幅広い対応をはかり、地域の皆様が頼りにできる医療法人を継続していきたくと思っております。ここにあらためまして皆様のこれまでの鵬友会へのご支援に深く感謝申し上げますと共に、鵬友会の発展のため今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜われますようお願い申し上げます。

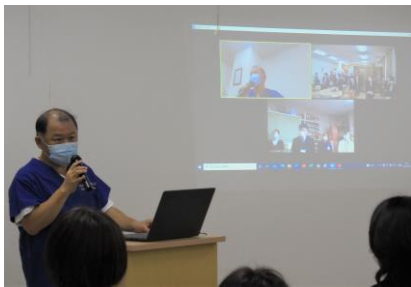
新年度スタート！～2022年度入職式/新採用者研修～



池島 理事長

2022年度入職式が4月1日（金）湘南泉病院会議室において感染対策のため時間を短縮して執り行われました。コロナ禍により2019年以来の開催で、昨年度入職者2名を含む法人内各施設から新入職者総勢17名が集まり、緊張の面持ちで新たな第一歩を踏み出しました。（富士宮地区4名はリモート参加）

式の中で、池島秀明 理事長は「①横浜市内の中でも、ある程度の規模の法人であるので、自信を持ってもらいたい。②一番大事なことは地域医療（泉区・旭区・瀬谷区）です。③皆さんの生活を保障するのも法人の仕事です。法人の方針を理解し共に頑張りましょう。④コロナ禍で仕事量が格段に増えているため、少ない労力で大きな効果を得るよう効率よく働く方策を考えています。」と述べ、最後に「コロナ禍で大変ですが、もう少しの辛抱です、頑張ってください。」と激励しました。



池島 常務理事 講義



【 会 場 】

続いて、池島 守 常務理事から『鵬友会の組織の概要』についての話があり、各施設の概要や新病院への移転計画、福利厚生等について説明しました。

その後、新病院を含む各施設の看護部長や事務部長が挨拶をし、式は終了しました。

湘南泉病院・病診連携の会



実地開催+Zoomによるライブ配信

令和4年3月29日（火）横浜市泉区医師会3階会議室にて、『湘南泉病院・病診連携の会』を開催いたしました。泉区医師会・瀬谷区医師会・旭区医師会のご協力をいただき、多くの先生方にご参加いただきました。ご参加いただきました諸先生方、ご協力いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

今回は「コロナ後の医療経営」をテーマに、横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科准教授 黒木 淳 先生にご講演をしていただき、皆さん熱心に聴講され非常に好評でした。講演後は、三邊湘南泉病院消化器センター長から湘南泉病院の消化器センターについてお話をいただきました。

今後も地域の先生方との病診連携を密にし、地域医療に貢献できるよう頑張っていまいります。